

第25回 学祖・下田歌子展

生誕から宮中奉仕、結婚、
女子教育の道へ

2026年 4月1日(水)～5月29日(金)



平尾(下田)歌子「下田歌子」1874-1875(明治7-8)年 紙本着書・淡彩画 実践女子大学図書館所蔵



「桃天学校時代 塾生本野久子と共に」1884(明治17)年
写真部分図 実践女子大学図書館所蔵

開館時間 10:30～17:00
休館日 土・日曜日、
5月4日(月)～5月7日(木)
観覧料 無料
会場 実践女子大学香雪記念資料館
企画展示室1・2
主催 実践女子大学香雪記念資料館



HP <https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>
〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49
実践女子大学渋谷キャンパス 1階

実践女子大学香雪記念資料館

Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University

第25回 学祖・下田歌子展

生誕から宮中奉仕、結婚、 女子教育の道へ

実践女子学園の創設者である下田歌子は、1854（安政元）年に美濃国恵那郡岩村藩（現在の岐阜県恵那市岩村町）の藩士、平尾録蔵、妻房（子）との間に長女として生まれ、^{せき} 銚と名付けられました。生家の平尾氏は岩村藩主松平氏に代々仕え、学問に優れた質実な家柄でした。祖父の東條琴台^{とうじょうきんだい}は儒学者として知られ、多くの著述を出版しました。しかし幕末に出版した地図が幕府の禁に触れ、越後高田藩邸で謹慎生活を送りました。父の録蔵もまた、幕末にあつて尊皇を説く学者でしたが、藩内の勢力争いに巻き込まれ、謹慎、役職・家祿の停止など、不遇の時代を過ごします。こうした中で、成長した銚でしたが、幼いときから和歌や俳句、漢詩、書画に才能を発揮しました。

明治新政府成立によって転機が訪れ、1870（明治3）年、父・録蔵が明治政府に出仕することになり、銚も父の後を追って翌年単身上京し、和歌を加藤千浪、八田知紀に学び、後には八田知紀の高弟・高崎正風の教えを受けました。また祖父の東條琴台からも漢学、古典その他の教えを受けました。

1872（明治5）年、銚は八田知紀その他多くの人々からの推挙を受けて宮中に出仕し、明治天皇の皇后（昭憲皇太后）にお仕えします。そして優れた歌才によって、皇后より「歌子」という名を賜りました。

今回は、下田歌子の生誕から宮中奉仕、下田猛雄との結婚、女子教育の道を歩むきっかけとなった桃天学校関係の資料を、歌子の人格形成に欠くことのできない家族の資料とともに展示します。

【アクセス】

JR／東京メトロ／東急／京王「渋谷駅」東口C1出口から徒歩約10分
東京メトロ「表参道駅」B1出口から徒歩約12分

※当館は、実践女子大学渋谷キャンパスの1階ロビー奥に位置します。駐車場・駐輪場はありません。ご来館の際は公共の交通機関をご利用ください。また、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室へ入館の旨をお伝えください。

※やむを得ず会期や開館時間を変更する場合がございます。最新情報は当館ホームページをご確認ください。



HP <https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>
〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49
実践女子大学渋谷キャンパス 1階

実践女子大学香雪記念資料館

Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University



1. 画：初代歌川豊国 賛：平尾他山《平尾他山肖像》1816（文化13）年 絹本着色
2. 日野樵齋《下田歌子絵姿》1899（明治32）年頃 絹本着色
3. 平尾銚（下田歌子）「短冊 冬河」1862（文久2）年 紙本墨書
4. 下田歌子「色紙 綾錦さかえらさば…」1933（昭和8）年 紙本墨書
5. 「桃天学校」出席表 1885（明治18）年8月11日より8月29日まで 紙本墨書 部分図
6. 「辞令〔宣教掛御付〕」岩村藩 平尾録蔵宛 1870（明治3）年6月 紙本墨書

※すべて実践女子大学図書館所蔵